

日本海

子ども×世界

世界とつながって育つ

地球の危機を生きる私たち。世界を視野に入れた学びをつくりたい。毎年、国際ワークキャンプを開催して、外国人青年と子どもたちの交流を深めています。グローバルスクールを開催してSDGsなど国際の問題について考えます。



子どもは遊びで育つ

海も湖も里山もある。ここで、ワクワク・ドキドキの遊びをいっぱいつくっています。島根大学の学生と一緒に伊野の自然を舞台に非日常的な遊びをつくる「伊野ベーション」は子どもたちに大人気です。

子ども×食

幸せのもとは食べること

「おいしい！」は幸せの叫び。湖・海・里山の食材いっぱいの伊野には様々な伝統食があります。「しぶ」と呼ばれる独特なチマキ、ひな祭りに供する「えがもち」など多彩な伝統食を学ぶ場があります。

月1回、子ども食堂を開催しています。子どもと家族が食を楽しみ、伝統食や「食と農・環境」について考える機会になってほしいと期待しています。



小さな学校の大きな魅力をつくる

1学年10人前後の伊野小学校。プール掃除や校庭周辺の草刈などは地域住民が手助けします。

宍道湖や日本海の漁師さんの船に乗って「まち探検」をするなど、住民が先生になる体験的な学びがいっぱいです。学年を超えた子ども集団ができるのも小さな学校の魅力です。

子ども×地域の未来

子どもと一緒に地域の未来をつくる

子どもは将来の主権者。子どもたちもまちづくりに参加します。5・6年生は年2回開催の産直市「伊野いち」にスタッフとして参加します。6年生は「町の幸福論」を考え、住民の前で「伊野の将来デザイン」を提案します。子どもと一緒に「今を生きる」ことを大切にしています。



伊野地区自治協会

大きな人間に
世界を考える

小さな学校
小さな地域

しませんか。
伊野で

子ども×好奇心

好奇心は学びの原動力

ホタル観察会や海・山・湖の生きもの調査など、自然界の不思議をさがします。ふるさとカルタやごろく大会で歴史や文化を学びます。



地域
×
保護者
×
お友だち人口

子育てはみんなで

小さな学校なので割高になる修学旅行や卒業アルバムの費用は「伊野ふるさと会員」のご寄付で市内大規模校と同じ負担に抑えています。

小学校児童が放課後にすぐ居場所として、児童館を運営しています。午後6時まで。

夏休み等は、地域ボランティアの協力を得て午前8時から午後6時まで子どもを預かる体制を整えています。いずれも利用料は無料です。

保護者×保護者

子どもをまん中に、 楽しい時間をみんなで

家族同士が仲良くなろう、と保護者がいろんなイベントを開催します。子どもが店主になってお店を開く子どもマーケット、たき火を囲んでほっこりの「家族の時間」、七五三の写真スタジオなど、子育て真っ最中の家族が集まる場を保護者がつくりています。



子ども×スポーツ

スポーツでつながる

スポーツ好きが多い伊野。里山をかけめぐるトレイルラン、名刹一畑薬師への初詣ラン。eスポーツ大会やモルック大会など、子ども参加のスポーツイベントは盛りだくさん。日常的には小学生のサッカーとバレーボールのクラブを地元ボランティアが指導します。

宍道湖